

「アップサイクル」すずメッキ鋼板登場！

缶バッジパーツに採用！

このたび、東京製鉄が製造する低 CO₂鋼材「ほぼゼロ」を母材にした缶バッジパーツが誕生しました。缶バッジパーツを製造したのは三幸商事株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：武田有広、以下「三幸商事」という。）です。三幸商事は国産にこだわり、材料の選定・手配から缶バッジ加工までをワンストップで行っており、国内トップクラスのシェアを誇ります。

すずメッキ鋼板が、老廃スクラップからアップサイクルして造った鋼板を母材に造られるのは、世界で見ても画期的な取り組みであり、老廃スクラップと当社鋼材の可能性の広がりを実証する具体的なケースと捉えています。さらに「ほぼゼロ」を採用頂くことで、具体的な CO₂削減が実現できます。当社はお客様との協働を通して、一つ一つの製品の素材を見直すことが、地球温暖化や資源枯渇などの環境問題の解決に直接つながる重要な一歩であると考えており、アップサイクルの取り組みをさらに推進しながら、カーボンニュートラル社会の構築とサーキュラーエコノミーの実現に寄与してまいります。

（提供：三幸商事株式会社）

- ・ 三幸商事株式会社 国産缶バッジパーツ販売サイト：
<https://www.badge-koi.com/view/page/hobozero>
- ・ お問い合わせ先：<https://www.tokyosteel.co.jp/contact/>